

**みやぎNPO夢ファンド(A)人材育成支援プログラム
平成19年度助成事業 最終報告書**

書式 4

平成20年 3月 14日

団体名	特定非営利活動法人 アクアゆめクラブ
事業名	総合研修セミナー
連絡担当者お名前(ふりがな)	木間 奈津子(このま なつこ)
担当者 電話	F A X
E-Mail	
助成金を使って行った研修事業について、具体的にご記入ください。 (事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)	
<p>第1回 「NPOのマネジメント」 日時：平成19年8月27日(月)10時～ 場所：総合スポーツセンター管理棟 多目的ルーム 講師：せんだい・みやぎNPOセンター 常務理事 紅邑晶子 氏 参加者：NPO法人アクアゆめクラブ職員 12名 内容：1)なぜ「市民活動団体・NPO」が注目されているのか 2)市民活動団体・NPOってなに？ 3)市民活動団体・NPOができるまで 4)市民活動団体・NPOの活動方法と事例紹介 5)組織とスタッフ 感想：・NPOの意味がわかってよかった。 ・この団体が社会にとってどういう存在であるかが理解できたし、わたしたちの役割があるということがわかったので自分なりにできることから取り組んで行きたい。 ・これまでパートとして勤務の経験は多いが、指示されたことだけやっていたらいいといった感じであたったがこの仕事は、パートでも責任をもってやらなければならない立場にあると感じた。 ・このような職員の意見や考えを聞く機会がなかったのでとても新鮮で有意義な研修だった。</p> <p>評価：当団体で初めてのスタッフ研修会だったので職員は緊張している様子であった。しかし、紅邑先生の講義の中でお互いの考えを言葉にして発表するといった作業があり、職員の中では自分の団体に対する考えを知ることだけでなく、一緒に働く職員の考えも知る良い機会となった。意外と考えていないように思えた職員が立派な考えをもっており、正職員だけの意識枠と感じていたマネジメントも一緒に研修を行うことで臨時職員も正職員と同じ意識枠を共有することがスタッフの質を高めることにつながると感じた。</p>	

第2回 「温水プールの機械管理」

日時：平成19年9月3日(月)10時～

場所：町民プール・中央公民館

講師：千代田工販株式会社 黄海正勝 氏

参加者：NPO法人アクアゆめクラブ職員 11名

内容：1)七ヶ浜町温水プールの仕組み

2)温水化システムの取り扱いマニュアル

感想：職員の方の指示でしか動けなかったし、「ボタンを押す」などの単純な作業しかしてこなかったが、「ボタンを押すことでどうなるのか」という意味を理解したうえで作業をおこなっていきたいと思った。

自分たちが管理しているのに今までわからないで過ごしてきたことがたくさんあった、今日の説明で機械の仕組みや綺麗なプールを維持するための最低限必要なことがわかってよかった。

職員頼みにせずに、知識をつけて仕事に活かしたい。

評価：当団体が管理運営しているスポーツ施設の中で重点施設としている温水プールの機械管理について実際の作業実演を含めた研修となった。これまで職員のみが行っていた機械操作等もいざという時に臨時職員でも対応できるように「なぜ、こうするのか」といった理由づけも含めた詳しい説明の中で機械システムを理解することができたように思う。

今後のプール管理における対応手順(緊急時も含む)誤作動した場合の影響等について知識あるスタッフとして、管理に努めていけると思う。

第3回 「企業のマネジメント」

日時：平成19年11月26日(月)10時～

場所：総合スポーツセンター管理棟 多目的ルーム

講師：新日本石油精製(株) 総務部スタッフ教育係 本田 正典 氏

参加者：NPO法人アクアゆめクラブ職員 12名

内容：1)企業におけるCSR

2)ビジネスマナー

感想：・地域の中の小さな存在だと思っていたが地域に対する役割はすごく大きいように感じた。

・「CSR」という言葉を初めて聞いたが社会貢献という面ではこの団体のやることやできることはたくさんあるし、そこを考えていく人材というのが我々スタッフなのだと思うので、自分がチカラになればと思う。

・私たちの接客や振る舞いの1つ1つが施設利用者や住民からの評価にもなることを痛感した。

・社会に出て初めてビジネスマナーについて勉強できて良かった。

・職員という立場でこれまで様々な事業を考えてきたが、外からみたクラブの立場であったり、役割といった部分に意識がなかったように思った。

評価：今回の研修では実際にこの団体がどんな組織でどんな目的をもって事業を展開しているかといった部分から、客観視した地域から見たこの団体の役割であったり、地域社会に対する貢献について考える機会となった。

また、ビジネスマナーについてはスタッフの中でも誤解していた部分などみんな「えっ!」と驚く場面もあったが、自分の振る舞いを見直す機会にもなったようだ。

第4回 「指導者セミナー」

日時：平成19年11月28日（水）19時～

場所：中央公民館

講師：仙台大学 勝田 隆 氏

参加者：クラブ活動指導者 28名

内容：1) 指導者のスキル
2) スポーツの本質
3) 競技力向上に向けた国の取り組み

感想：・初めて顔を合わせる人ばかりだったが指導者としてスポーツの楽しさが子どもたちに伝わるように努力したいと思った。
・自分がやってきた若い頃の経験だけで指導してきたが現状のスポーツの変化にも注目していかないといけないと思い反省した。
・いろんなゲームを通じて、また先生の話聞いて、改めてスポーツの意味を知ることができたように思う。
・もっと勉強しようと思った。

評価：クラブ事業の柱となる教室運営で重要な人材となる指導者を対象としての研修であったが、ゲームを通じてコミュニケーションスキルであったり、言葉の使い方により多様な参加者に対する指導につながっていくように感じた。また、スポーツの本質として勝田先生のオリンピックの裏話など貴重な話もあり、指導者にとっては自分の指導を振り返るとともに世界や日本のスポーツ指導の現実も知ることができたと思う。
これまで座学で行われてきた講習会であったが、今回ゲームやディスカッションを入れてもらったことで参加者にとっても新鮮さのある研修になったようだ。

第5回 「危機管理と防災対策」

日時：平成20年1月17日（水）10時～

場所：総合スポーツセンター管理棟 多目的ルーム

講師：七ヶ浜町防災対策室 鈴木 善雄 氏

参加者：NPO法人アクアゆめクラブ職員 8名

内容：1) 災害の恐ろしさ（七ヶ浜の特色）
2) 災害時の行動マニュアルについて
3) 災害の避難場所や避難区域

感想：・99%やってくるという宮城県沖地震に対しての対応・対策についてスタッフ内で認識不足の点等を、この機会により深く再確認することができた。
・災害が起こった場合でもあわてることなく行動できるよう、対策づくりをクラブ内で練っていかなければならないと思う。
・管理を行っている施設の避難場所や誘導方法を今一度スタッフ全員が同じ認識を持つように役割を確認していく必要があると感じた。
・海に囲まれている七ヶ浜の地理的特徴から津波対策は必須であり、今回対策案等を聞く事ができて良かった。
・災害が起きた場合、各施設の危険ヶ所の確認や老朽化の進んでいる施設の点検等を見直す必要があると思う。

評価：今後の災害時の対策についてスタッフ内でもイメージができ、また研修内容を踏まえ、災害を予想しての訓練もしたほうが良いのではないかという意見もあった。スムーズな対応ができるよう訓練等も繰り返し行っていきたい。

第6回 「危機管理とノウハウ」

日 時：平成20年2月6日（水）10時～

場 所：総合スポーツセンター管理棟 多目的ルーム

講 師：七ヶ浜町役場総務課 鈴木 昭史 氏

参加者：NPO法人アクアゆめクラブ 理事6名 職員2名

内 容：1) 施設の本来の在り方
2) リスクマネジメント

感 想：・施設に関して毎回決まった時間に決まった団体が利用している。空いている時間にもっと自由に町民が利用できる施設作り（開放）ができればよいと思う。
・町民に体育施設がどのくらいあるのか、また、どのようにしたら利用できるのかより知ってもらうために工夫する必要があると思う。利益を増やす対策として施設を知ってもらい、開放することが今後の利益にもつながると思った。
・プールの重油も上がっていて経費を削減しつつも管理側でも努力してきたが、利用者と重油料が見合っておらず、運営が厳しい。落ち度のないよう、運営できるように節約をし、料金設定を見直していく必要があると感じた。

評 価：今回は理事を中心に施設管理について、現状を確認し、施設の利用され方や団体の偏り、設備の不具合による起こりうる事故について研修した。また、先生から全国の事例についての話や、裁判の凡例についても話があったのでより具体的に考えることができた。
理事の方にもしっかり理解してもらうことで今後の方向性を具体化する事ができた。
初めて理事と職員で真剣に将来を考えたいうえでディスカッションすることができて良かった。やる気がでた。

当初の成果目標はどの程度達成できましたか。当初目標と比較して記入してください。

申請書に記載した成果目標	目標の達成度・団体に与えた効果
<p>当団体が設立して3年目を迎えるが、事業の考え方や理念の共有が難しくなってきた。また、シフト制の勤務であるため、スタッフが一同に会する機会がないので意思の疎通、共通理解を求める事も困難である。</p> <p>平成18年度より、町から9つの体育施設の指定管理業務を委託したが施設管理に関する技術を持つスタッフがいない。また、地域の人材を活用しているが、地域には知識の持つ方が少ない。9つの施設では多種多様な機械、設備があるが何かあった時にメンテナンスできる人材がいない。現在は委託で対応している。</p> <p>当団体に所属する指導者の中には自己中心的な考えのまま指導にあたる方も少なくなく、クラブ理念やNPOのあり方、指導技術の習得が必要である。会員とスタッフ間にいる指導者であり、人間関係の形成にも大きく影響する人であるため、コミュニケーションスキルの習得が必要である。</p> <p>3年目を迎える当団体の方向性が明確になっていない。スタッフ間で理解の認識や団体存在の意味を理解できていない。 新たな人材を雇用しても技術と知識が足りない。</p>	<p>研修を通じて顔を合わせる機会ができ、意見を聞くこともできた。また、団体に対して「もっとこうしたほうが」と気軽に話せる雰囲気になった。そして、再度理念や考え方を共有することができたので、今後の業務も新たな気持ちで努める事ができると思う。</p> <p>研修後にもわからない部分についてはお互いに確認したりHPで調べるなど責任を持って業務にあたっているようだ。また、故障が生じたり警報が鳴ったときも焦らず一つ一つボタンを押すなど行動にうつすことができている。</p> <p>研修を通じて子どもたちとの関わり方やスポーツの楽しさを再確認し、指導に役立っている方が増えてきた。また、参加者とのコミュニケーションも「良き聞き役」となり、責任もって教室づくりに取り組んでいる。</p> <p>様々な研修を通じてスタッフ同士で理念の共有をはじめ理事にも現状を把握したうえで今後の施設管理の在り方や団体の意義についても認識できた。これまでの3年間ずっと必要と感じながらも取り組めずにきたが、このファンドのおかげで立派な人材とはいえないが、この団体を支えていく人材づくりにつなげることができた。</p>

達成できない部分があった場合には、
考えられる原因や、解決に向けて必要なことをお書きください。

- ・防災マニュアルの策定までを研修内で行いたいと考えていたが、時間的に難しく、今後取り組んでいきたい。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

- ・年間を通じて、人材の育成に必要となる研修を行い、より公益性の高い、住民から必要とされる団体にしていきたい。その際にはスタッフや理事・会員（ボランティア）が集まる機会をつくっていく必要があると思うので長期的なビジョンをもって取り組んでいきたい。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	150,000円	150,000円	
クラブ負担費	85,512円	79,592円	
合計	235,512円	229,592円	

項目	予算(円)	決算(円)	備考
講師謝金	180,000円	180,000円	
講師交通費	0円	0円	
印刷製本費	33,522円	33,522円	
会場費	11,840円	5,920円	2回公民館
人件費	10,150円	10,150円	
合計	235,512円	229,592円	